

ひゅーまん ネットわーく

地域に生きる

2015年 4月 発行／第61号

社会福祉法人北摂杉の子会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル203 TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



発達障害のある大学生向け就活支援サービス「en+jointクラブ」の成果報告会での発表

平成27年度 事業計画策定に当って



社会福祉法人北摂杉の子会

理事長 ^{なか}中 ^{むら}村 ^{せつ}節 ^し史

平成27年度は第3次中期5ヶ年計画の4年目に当たるが、後半の3ヶ年計画においては主要実施事項が複数年にまたがっているため、基本的に平成26年度方針を継続し、活動を更に強化すると同時に、中期計画の総仕上げである平成28年度での成果をも視野に入れた実行計画を策定する

1. 当法人を取り巻く経済・社会の状況

- 1) 平成27年度はアベノミクスによるトリクルダウン効果よりも、副作用による諸物価、諸経費の高騰の影響がより強く出る一年と思われ、中小・零細企業や体力の弱い社会福祉事業などには厳しい経済環境になると思われる。
- 2) 社会保障費用の増大に対処するために障害福祉に対する報酬単価は据え置かれた。
当法人の取り組んでいる強度行動障害などの重度者支援や発達障がい支援、工賃の改善への取り組みなど積極的な活動に対しては、一定の配慮はなされそうであるが、全般的には非常に厳しい状況である。
- 3) 雇用状況は有効求人倍率など確実に改善されてきており、福祉分野においては、職員の確保が常勤、非常勤を問わず、昨年度よりも一層厳しい環境となってきた。

2. 前年度の活動の結果と当法人の直面する課題

- 1) 軌道に乗りつつあるもの
 - ① 発達障害者の就労移行事業
 - ② 児童療育事業の領域拡大
- 2) 着実に進みつつあるもの

- ① 重度・高齢化対策における医療的ケアの仕組み、入院対策など
- ② 高工賃事業に向けての取り組み(ポップコーン、チョコレート)
- 3) 活動のドライブが更に必要なもの
 - ① 職員の確保に向けての活動（総務部の戦略案を中心に）
 - ② 次期グループホーム（高槻、十三）の推進、ジョブサイトひむろ、みやたの移転
 - ③ 高槻地区における就労継続B型事業の整備
- 4) 新しい取り組みとして加えるもの
 - ① 重度・高齢化対策としての居宅介護支援策の検討
 - ② 懸案の成人後見人制度の推進
- 5) 法人として中長期的に取り組みを継続し、収益的にも、支援面においても更なる向上を実現するもの
 - ① 支援の制度が不十分な強度行動障害支援や重症心身障害支援事業、相談支援事業などの事業体質の改善
 - ② 虐待事件やサービス管理ミスなどの再発防止の徹底した取り組み

3. 当法人の取り組み姿勢

1) ワンモアディベロップメント（OMD）

厳しい外部環境であるが、利用者のかたやご家族へのサービス水準の向上、支援の専門性の向上、法人としての組織力、経営力の向上を目指し、現状よりワンランク上の活動を進める。

2) ブレイクスルー

利用者さんへ高工賃を支払える仕事の確立のためには、ワンランク上の活動だけでは不十分であるので、高工賃を阻むあらゆる要因を抽出し、そのボトルネックを強い覚悟と工夫によって打破をし、利用者さんに働き甲斐のある仕事を提供する。

3) コーポレートガバナンス

今後社会福祉法人全般に対して、かなりしっかりした経営が求められてくる。

当法人は、組織面においても、運営面においても進んでいることは事実であるがまだまだ不十分で、残念な事件も発生している。組織も大きくなり、事業も多様化しているので、更なる組織整備と共に、上下、左右の風通しの状況も再点検する。

4) ステークホルダー

地域のニーズに応え、社会福祉法人としての社会的責任を果たしていくためには、ご家族、職員、行政、同業の仲間、地域の人たちとの関係が円滑で緊密であることが肝要である。特に、支援の制度的にも、体制的にも不十分な強度行動障害、重症心身障害に対する支援の充実には、ご家族の協力、行政との取り組み、仲間との連携が不可欠であるので、関係の皆さんとの協働に力を入れる。



平成27年度 社会福祉法人 北摂杉の子会 年度方針

○第3次中期5ヶ年計画の後半の3ヶ年計画においては、主要実施事項が複数年にまたがっているため、平成27年度は、基本的に平成26年度方針を継続するが、28年度での成果をも視野にいて活動を更に強化する。(ワンモアディベロップ活動の推進)

○今年も「現場力」「突破力」「提案力」を大切な合言葉として活動にとりくむ。

1. 職員の安定確保と職員の育成

- 職員の安定確保は、常勤、非常勤を問わず昨年よりも厳しい状況にあるが、すでに進めている「職員確保戦略案」を中心に職員の確保に努める。
- 昨年ステップアップした職員研修を更に磨き上げ、職員の個の力の向上を目指す。

2. 法人運営安定のため一定収益を確保

- 報酬単価の改定が厳しい状況の中で、経営的には大変苦しい一年を迎えるが、全員が念いをつにし、法人を挙げて、無駄の排除、経費の見直しなど合理的運営を進めることにより、一定の利益を確保する。
- 支援の制度や体制の不十分な構造的赤字事業については、特に窓口の行政部門と協働して、収益の改善に取り組む。

3. 施設整備の推進

- 土地確保の難しさなどにより、計画が遅れているのは残念であるが、今年はそれぞれにつき、しっかりと用途をたてる。
- 次期グループホーム（高槻地区、十三地区）の立ち上げ。
- ジョブサイトひむろの移転。（移転の具体案を提示して、行政と折衝）
- グループホームみやたの移転。

4. 高工賃を創出できる仕事の確立（就労継続B型、就労継続A型）

- ポップコーン事業、チョコレート事業の導入による事業基盤の確立とA型事業への挑戦。
- 高槻地区における就労継続B型事業の整備と拠点の確保。

5. 発達障がい児・者支援ニーズの増大への対応

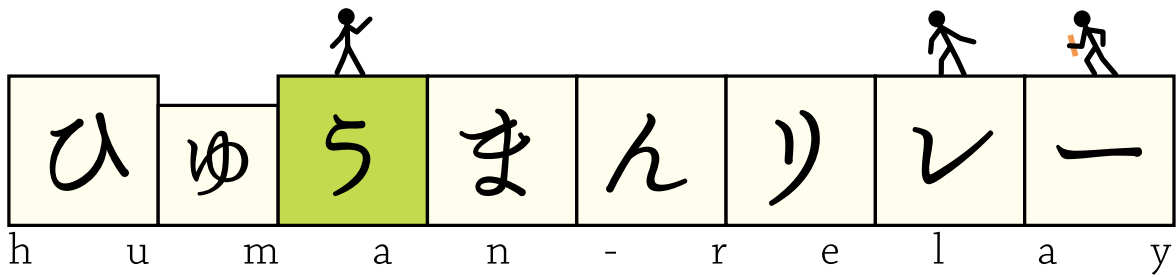
- アクトおおさかの役割の拡大。
- 児童療育事業の領域拡大と各市町村との連携強化。
- 発達障害のある大学生支援などを含む就労移行事業の更なる強化。

6. 利用者の重度・高齢化対策

- 医療的ケア（喀痰、胃瘻）の検討推進。
- 利用者の入院などの対策としての居宅介護支援策の検討。

7. 法人の社会的責任

社会福祉法人の在り方が問われている中、法人外部からも内部からも、信頼され、安心される法人であり続けるために、更に組織の整備と運営の透明度を高める活動を進める。法令の順守は当然であるが、中でも「虐待防止」「サービス管理」の活動に注力する。



共に生きる「ショコラボ」

一般社団法人AOH 代表理事 ^{いとう のり ゆき} 伊藤 紀幸さんより

2014年の全国の月額平均工賃14,190円（就労継続支援B型事業所、授産施設、小規模通所授産施設の平均、厚生労働省発表）。障がい者が手にする月給の全国平均値の実態である。繰り返すが、「月給」である。

2001年、障がい児の一人息子は高校までの一貫教育の養護小学校に入学した。NYで9.11事件が起きたあの年である。何とも驚いたのは、息子の高校では卒業後の平均工賃（月給）が3千円だという。

まだ桜散る頃の小学一年生の父親として、私は唖然とし、愕然とした。36歳の春、私は障がい児をもつ父親としてわが子の将来を憂いた。

自分が死んだらこの子はどうなるのだろう、と。

大学後に信託銀行に入行し25歳で結婚、30歳で息子が誕生した。障がい児を授かり、最初はビックリしたというのが正直なところだが、気丈な妻のお陰もあり、家族三人楽しく生きようと決め、公私とも充実した生活を送っていた。

彼のプライバシーを堅持する意味もあり、会社には息子の障がいの事は言わず、人一倍仕事にも熱心に取り組んだ。其の為、仕事は重責を拝命するも多忙になるばかりで、妻は発音の悪い息子（当時3～4歳）の言葉を全部理解できるのに、私は殆ど理解できなかった。

彼の父親として何をしているのだろうと自戒し、最終的には家族との時間を確保するため、花形の本店融資部を最後に退職した。

34歳で転職した先は国内格付け機関（JCR）。職場環境や上司にも恵まれ、原則毎晩家族三人で食事とババ抜きゲーム、息子と二人でお風呂に入



製造風景

る規則正しい生活を送った結果、息子の話が殆ど理解できるようになった。

“しかし”である。小学校入学と同時に知らされた障がい者の雇用現場と低賃金の現実。私が生きている間に息子に少しでも財産を残そう、格付け機関アナリストとして手腕を磨こう、という気持ちが半々で、外資系格付け会社 Moody's に移籍した。Moody's でも極めて恵まれた環境・待遇を得て大変満足していた。

そんな折、2001年1月出勤途中で読んでいた日経新聞の「私の履歴書」に目が留まった。その月号はヤマト運輸の小倉昌男元会長。

小倉元会長は潰れそうなヤマト運輸の業績をV字回復させ、その巨万の富の殆どを、福祉財団を創設して寄付され、障がい者工賃の1万円から



の脱出を企図して、スワンベーカーリーを立ち上げ、

晩年は福祉の世界に傾注する人生を遂げられた。

この連載記事を毎朝拝読するにつれ、「こんなデカイことは出来ないけど、自分も一度の人生、障がい者を雇用する会社を起業しよう」と心に決めた。この瞬間、私の人生目的が決まった。脱サラして、障がい者をいずれ雇用できる会社を創り、彼らに雇用の場と工賃アップを実現したいと。

その後、2002年11月1日に不動産の会社を創業し、スタッフにも恵まれ、夫婦でコツコツとお金をためて、10年後の2012年11月1日に念願の

障がい者雇用の会社を起業することができた。

社名は一般社団法人 AOH、屋号はショコラボとし、同年同月に横浜市から就労移行型の福祉作業所として指定も頂けた。

全国初の福祉作業所としてのチョコレート専門工場で、現在は障がい者23名（知的・精神）、健常者約7名の合計約30名で毎日チョコレートの製造販売に勤しんでいる。

様々な方にショコラボの創業の志や経営理念に共感して頂き、まさにヒトのご縁のお陰で、創業2年強にも拘わらず百貨店（丸井、さくら野、近鉄、阪急阪神、横浜高島屋、玉川高島屋SC、三越伊勢丹、京急百貨店、さいか屋）、JR、東京ドーム、ランドマーク、ホテル数社など取引先拡大も順調裡に推移している。

開業2年が経過し、関西方面にもショコラボを近々進出させる計画を推進している。そして、地元横浜では継続支援B型事業所を立ち上げる準備に日々追われているが、仲間に恵まれ充実した日々を送っている。開業間無しで予算も限られているので、身の丈に応じて『雇用の場創出と工賃アップ』を着実に進めたいと思っている。

読者の皆様にも温かい目で見守って頂けたら幸いです。今後とも応援宜しくお願いします。



地域における包括的支援体制の構築をめざして ～地域連携を考えて～

相談支援専門員と地域連携について



あい・すまいる淀川

管理者・相談支援専門員 くすのき 楠 きよ 清 し 志 さんより

私が所属している特定非営利活動法人あい・すまいる淀川高齢者・障害者自立支援センターは、大阪市淀川区三津屋で高齢者・障がい者の支援を行っております。今年4月で13期目になります。現代表が“障がい”とは無縁の生活をしていたのが24年前に脳幹出血で倒れ、一命は取り留めたものの、視野欠損や上下肢半身マヒという障がいがあり、生活が一変しました。そうした中で日常生活を送る上で不便さや歯がゆさを感じながら役所等に電話をかけて、ガイドヘルパーや盲学校（現在は視覚特別支援学校）の存在を知ったそうです。当時は社会資源という言葉も知らない時期でした。自分で動いて初めて、代表自身が身近な社会資源の重要性に気付き、障がいがあり困っている人と社会資源をつなぐ役割を担いたいと当法人を立ちあげました。現在当法人では、高齢者・障害者のホームヘルプ事業、障がい者相談支援事業、放課後等デイサービス事業、そして高齢者と障がい者の交流事業として、ハンドベル教室と、手話カラオケ教室等行っています。これらの事業は、高齢者と障がい者、そして健常者が同じ社会の土壌に立つ「インテグレーション」という思いのもと行っています。その中の相談支援事業で私は相談支援専門員として活動しております。その役割として相談を受けて当事者の意思を尊重したサービ

ス等利用計画を作成しています。

私自身も18歳から難病を発症し身体障がい者となった身なので代表や当事者の気持ちの一部は理解できるつもりでいます。しかし、知的障がいや発達障がいなどはまだまだ勉強中ということもありジョブサイトよどや児童デイサービスセンター an、研修相談支援室 Passoとも淀川区地域自立支援協議会での専門部会で情報共有やスーパーバイザーとしてとてもお世話になっております。淀川区の大きな課題である障がい児の社会資源や今後のネットワークづくりのために自立支援協議会で平成27年4月よりこども支援部会の設立が決まりました。地域連携は大震災などの自然災害時にはその対応スピードが特に問われることになり、その中でお互いの情報や専門性を活かすことで被害拡大や混乱をできるだけ抑えやすくなる可能性や、また災害後の当事者の安全や安心感が関係機関同士の協力により得られやすくなると考えております。相談支援専門員は全体を把握しながら当事者のサービス計画を作成しますが、日常の生活の把握は関わる時間が多い家族や関係機関の情報が不可欠でありますので、今後も私達と一緒に中心になって活動していただき専門性を発揮していただければと考えております。



全国音楽療法協会

音楽療法士 ^{おお}大 ^{かわ}川 ^{むつ}睦 ^こ子 さんより

音楽はすべての人の心を動かす。心は脳によってコントロールされているので、心が動くことで身体の動きと知的活動も促進される。そしてまた心へ戻り、気持ちの安定や意欲へと繋がる。そんな場面が現在私の関わらせていただいている約70名のご利用者から多く生まれていますので概要になりますをご紹介します。

ふれいす Be では2009年6月から、ジョブサイトひむろでは2011年1月から、心身機能の維持と活性化と向上、生活の質の向上を主な目的として、音楽の3要素のメロディー、リズム、ハーモニーを意図的、計画的に用いて、身体面、精神面、社会面に働きかける音楽療法活動を行っています。

各施設の担当の方に個別とグループに分けていただき、ご利用者様のニーズと個性に則した活動を提供しています。



ボンゴ

♪ 主な内容

- ◎ 各種打楽器類、ミュージックベル、鍵盤楽器、オートハープなどを使用してリズム表現活動とメロディー演奏活動（それぞれの方に合わせて番号や記号や色やイラストを使った指示書も作成しています）
- ◎ 大布や鈴の輪や手作り小道具など使用して感覚刺激や運動
- ◎ 歌唱による言語活動と心肺機能活性化

各活動にお好きな曲を用いて『楽しんでいただきながら』を何より最優先しています。

職員や支援員の方々のご協力と助言をいただき活動の振り返りも行いながら、段階を踏んでアプローチし、継続して回数を重ねています。



ロリポップドラム

♪ それらの結果

- ◎ 感情表現が豊かになった方
- ◎ 音やリズムに的確に反応されるようになった方
- ◎ 元来持っておられたリズム感を表現する場面が増えて楽しみ気持ちを安定して過ごせるようになった方
- ◎ 他の日中活動では落ち着いた活動が難しいが楽器演奏にとっても関心を持たれ、ミュージックベルを色指示のマッチングから始め現在ではお好きな曲をキーボードで演奏する事に活動時間を通して集中されている方
- ◎ 音楽を通して人と関われるようになった方
- ◎ 日常生活とは違った場面でも安定してご自分の表現ができるようになった方
- ◎ 力強い動きになった方
- ◎ 集中力が高まる、また持続



フレイムドラム



ミュージックベルの練習風景

時間が増えた方

◎指示書への対応が良くなり、指1本の演奏から5本指を使った鍵盤楽器演奏技術が向上し喜びを持って活動されている方



忘年会でキーボード演奏の発表

◎日常はご自分のペースでのみ活動されている方がグループで他の方とタイミングを合わせて合奏ができるようになった方

等、他にも多様な様子を見せて下さっています。

皆様はそれぞれの感じ方を素直に豊かな表現をされ素晴らしい笑顔になられます。そんな様子と頑張ってこられた成果をジョブサイトひむろでは毎年の忘年会にて、ぶれいすBeでは昨年のクリスマス会にて、披露していただきました。それまでに見られなかった力を発揮される方もおられ、私も嬉しい驚きでした。職員の方も日常見られない姿が見ら

れたと喜んでおられました。

リコーダーやホルンの演奏者にも来ていただき、広く皆様にもいろんな音色と曲を楽しんでいただきました。

まだまだご利用者様への理解が足りなく、お気持ちに添えないこともありますので、アプローチ法も勉強し考えて、より良い人生を送っていただく、一端を支援させていただきたいと思っております。また今後ご利用者様の加齢による心身のご負担への対応も考えていきます。

最後に私事で恐縮ですが、教職経験や息子の療育を通して、いろんな障害児者や保護者の方と泣き笑いした経験をもとに、今後、微力ながら何らかのご支援もできれば幸いです。



忘年会でミュージックベル演奏の発表



ぶれいすBeのクリスマス会

平成27年度新規事業 「サポートセンターPASSO」「こども発達支援センター az」 開設!!



児童発達支援部 部長

こども発達支援センター az センター長

保育士 谷 岡 とし子

当法人の平成27年度新規事業として、児童発達支援部から2つの事業がスタートしました。1つは、平成22年度から当法人の公益事業として実施してきた「本人支援事業」をそのまま継承した「サポートセンターPASSO (パッソ)」。もう1つは、大阪市住吉区长居に開設しました「こども発達支援センター az (アズ)」です。

● 「サポートセンターPASSO」 ～発達障がい専門療育 小4年生～中高生対象～

「サポートセンターPASSO」は放課後等デイサービスを利用し発達障がいのあるお子様の本人支援を、個別の療育プログラムに基づき実施しています。

思春期を迎え、親子関係の悩みもあり、お子様の支援が進まなくて困る時期に、「サポートセンターPASSO」では、高機能自閉症やアスペルガー症候

群等の発達障がいのある児童の自己理解支援、ソーシャルスキル、就労準備プログラムなどを個別評価に基づいた個別専門療育を行います。また、保護者に対するお子様の本人理解を深める研修も合わせて実施します。

サポートセンター PASSO



■住 所：大阪市淀川区十三東1-1-16 電話：06-4862-5454

■営業時間（9時30分～18時00分）※サービス提供（10時30分～17時40分）

■対 象 者

- ・大阪府下に在住の方（大阪市、堺市在住の方含む）
- ・年齢（小学校4年生～6年生 / 中学生・高校生）
- ・医療機関で「自閉症・広汎性発達障がい・アスペルガー症候群（＝自閉症スペクトラム症）ADHD,LD」などの診断を受けた児童。
- ・1年目は保護者研修に必ず参加できる方。
- ・小学生については、基本的には保護者または支援者の送迎が可能な方。

■各コース

- ・「学齢児コース」（小学4年生～6年生）
- ・「中学生・高校生コース」

※月・火・水・木のいずれか月に1～2回、1回70分程度。

※他に単独個別療育のプレミアムコース、療育を経験して自己理解が深まった中高生を対象にフォローアップコース

①PASSOくらぶ土曜日開催：生き物くらぶ・料理くらぶ・科学発見くらぶ ②就労準備プログラム ③PASSO相談：本人相談などを予定。



サポートセンターPASSO
(1階奥)入口



●大阪市発達障がい児専門療育機関「こども発達支援センター az」

大阪市住吉区长居に開設しました「こども発達支援センター az」は、大阪市の発達障がい児専門療育機関として5ヶ所目、当法人としては、「児童デイサービスセンター an」(淀川区)に続く、大阪市内2ヶ所目の事業所となります。「児童発達支援事業及び放課後等デイサービス」の事業所指定を受けたのが3月中旬ととても慌ただしい準備となりましたが、予定通り4月1日から事業を開始することができました。最寄駅の御堂筋線・JR 阪和線「長居」から徒歩6分程で、ご利用者のお子様やご家族にとっても通いや

すい立地です。長居は、22年前に14年間にわたって今日のようなスタイルで療育を実施してきた経緯もあり、私や法人にとっても思い出の地であります。当時は、長居公園や障がい者スポーツセンターを子どもたちと一緒に度々利用させていただき、大変お世話になりました。「こども発達支援センター az」でもお世話になることと思います。

今後とも、従来通りのご支援とご協力を賜りますよう、ご利用者・ご家族の皆様並びに関係機関の皆様、近隣の皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

こども発達支援センター az

■住 所：大阪市住吉区长居2丁目4-1 電話：06-6654-8777

■指 定：児童発達支援事業・放課後等デイサービス

■営業時間（9時15分～18時00分）※サービス提供時間（10時30分～17時00分）

■対 象 者

- ・年齢（年少児～小学3年生）
- ・医療機関で「自閉症」「広汎性発達障がい」「アスペルガー症候群」等の診断を受けた児童及び保護者
- ・保護者同伴で1年間継続して通所が可能
- ・保護者研修にも参加できる方

■定 員

- ・幼 児（年少・年中・年長）：10名
- ・学齢児（小1・小2・小3）：30名

■利用申込について

- ・大阪市発達障がい者支援室（電話：06-6797-6560）



療育室は
ただ今
準備中!!



ふれいすBeでのヘルスプロモーション実践に おける取り組み



高槻地域生活総合支援センターふれいすBe

作業療法士 ^{しば} 芝 ^{ざき} 崎 ^ま 真 ^{こと} 琴

■ 取り組みのきっかけ

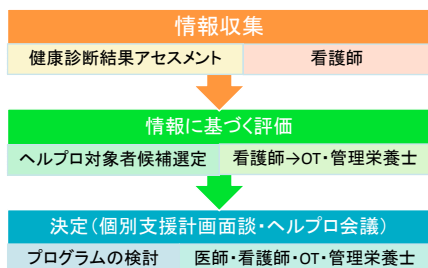
平成21年にふれいすBeが開所した翌年の健康診断において、多くのご利用者に体重増加や*脂質代謝値の上昇が見られました。支援学校卒業後の運動量減少や食生活が原因と考えられます。ご利用者のご家族から相談があり、医療職として日々の支援につながる健康的な生活へのアドバイスが出来ないかと考え、ふれいすBe医療職チームによるヘルスプロモーション（健康づくり）の取り組みが始まりました。

知的・精神に障がいのある方は、以下の課題が挙げられます。①生活習慣の自己管理が困難 ②障がい特性による偏食や過食、運動習慣の乏しさ ③運動や栄養、生活習慣の指導機会の少なさ これらが生活習慣病リスクの増加に繋がっていると考えました。そこで、ご本人を輪の中心にして、それを取り巻く医療職、現場の支援員、ご家族、主治医との連携を図り、ご本人の生活習慣の改善に向けて同じ方向で支援をすることを目指しました。

■ ふれいすBeにおけるヘルスプロモーション活動（略してヘルプロ）

ヘルプロとは、「いつまでも健康でいきいきと過ごしたい」という誰もがもつ想いを具体化し、生活習慣を改善するために計画的な取組みを行うことです。ふれいすBeでは、毎年6月に行われるご利用者健康診断結果をもとに看護師が評価。その中から、現在は年間5名と対象者を絞り、血液データや体重の推移、ご家族からのご希望をもとにヘルプロ対象者の候補を看護師、作業療法士、管理栄養士で選定します。対象者の決定後、個別支援計画の面談等でご家族の同意を得て、①運動中心プログラム ②栄養管理中心プログラム ③生活習慣見直しプログラム ④総合プログラムの中から、どのコースが最もご本人に合っているかを検討し選択。具体的なプログラムを実施し、嘱託医師訪問時に会議を行い、経過を報告・相談して取組みをするということを繰り返しています。

ヘルプロプログラムの流れ



ヘルプロの実績

- ・総合プログラムにより3か月で5kg、腹囲が10cm減りました！
- ・栄養プログラムにより3か月で3kg減りました。身体が軽くなりました。
- ・現在5名の方がプログラムを利用しています。

「健診結果が届いたら」

健診は病気をみつけるためのものではありません。現在の体の状態をよく理解し、生活習慣改善の指標として活かすことが目的です。生活習慣を改善すれば、健康を取り戻すことが可能です。

また、「健診結果」は自分の健康の情報源です。異常なしといわれても毎年の推移や注意点をしっかり覚えて、医師や看護師、管理栄養士等に相談しましょう。



お申込み・お問い合わせ
ふれいすBe全体支援チーム
Tel 072-681-4700
電話または、連絡帳にてご連絡ください。

ふれいすBe ヘルスプロモーション 健康促進プログラム

(略してヘルプロ)

—あなたの健康をお守りします—



社会福祉法人北摂杉の子会
ふれいすBe全体支援チーム

■ 実際の取り組み例

Aさん・男性・精神発達遅滞、自閉症のご利用者です。体重の増加、血液データ値の悪化等についてご家族からおれいすBeでの活動で改善出来ないかと相談があり取り組みを開始。そこで、まず作業療法士が運動サーキットプログラムを提案し、ご本人も楽しそうに取り組まれました。その他、腹筋やバランスボール、踏み台昇降、空き缶つぶしに取り組まれ、日々の運動習慣をつけることができています。また、管理栄養士がご家庭での食事内容を聞き取り、おれいすBeでの給食のご飯量を小盛りに変更し、さらに、看護師が毎月の体重測定や腹囲の測定を行い、推移を見守りました。

施設での取り組みと併用して、効果が大きかったと考えられるのがご家庭での取り組みです。ガイドヘルプサービスを利用した月3回のプール、ご家族との散歩など、運動習慣をつける取り組みを行われました。また、中性脂肪値を下げる効果のある食品を上手に取り入れたり、おやつは半分残したりするというルールをつくりました。

その結果、約1年間の取り組みで、開始時の76.2kgから67.9kgに体重が減少し、血液データ値も表のように、大幅な改善がみられました。

Aさんの取り組み例

- 体重の減少 76.2kg⇒**67.9kg**
- 血液検査データの変化

	基準値	H23年	H24年	H25年
血糖値	99以下	184	115(↓)	82(↓)
HbA1c	4.6～6.2	5.4	6.5(↑)	5.4(↓)
中性脂肪	30～149	207	355(↑)	170(↓)
AST(GOT)	30以下	25	88(↑)	21(↓)
ALT(GPT)	30以下	43	118(↑)	19(↓)
γ-GTP	50以下	60	123(↑)	40(↓)

*(注) 矢印…前年度との比較、赤字…異常値



■ 課題

Aさんやその他のご利用者のヘルプロの取り組みを通じて、以下のような課題に気がきました。①排泄や食事、作業などの日常生活の支援と長期的な視点での健康管理の支援を並行して進めていくことの難しさ ②通所施設のみでの取り組みには限界があり、ご本人やご家族の理解や意識が不十分であると、取り組みや継続が困難であることです。今後のヘルプロ活動をより良くすることを考えるきっかけとなりました。



実際の取り組み

■ 今後の展望

生活習慣病の予防については、早期発見・早期治療がとても大切だと言われています。医療職が中心となり健康管理をすることで、疾病の重度化を予防していきたいと思います。ヘルプロ活動の推

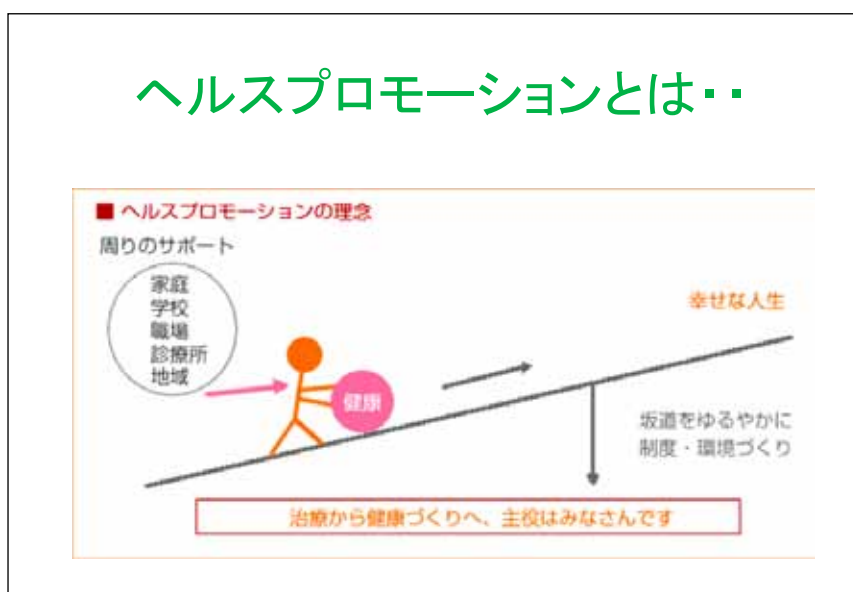
進により、病気になったときに重症化を防ぎ、受診や入院によるご家族の負担を軽減すること、日々の通所率の向上を図っていきたいと考えています。

ヘルスプロモーションとは、ご本人が健康という球を押しながら幸せな人生を歩んでいけるよう、家庭や職場、地域や施設などの周りが支え、少しでも背中を押すことを目的としています。そのためには健康な生活に向けての環境づくりをすることがとても重要です。従来の健康指導のように、専門家が主導となり健康な生活に導いていくのではなく、ヘルプロの主役はあくまでご本人。その人やその

周囲の支援者がどのような形で、サポートできるかをより柔軟な形で考えていくことがとても大切です。「いつまでも健康に通所したい、通所してほしい」という想いを実現していくために、今後も活動を継続していきたいと考えています。

※脂質代謝値とは…

脂質は大きく分けると中性脂肪とコレステロールがあります。この脂質が増えすぎると、活動エネルギーとして適切に使われなかったり、緊急時のために蓄えられる仕組みが正常に働かなかったりすることがあります。これを、脂質代謝値の異常といいます。



アセスメント(TTAP)研修を 法人内で実施することを通して、 評価の観点を共有化する



児童発達支援部 研修相談支援室
サポートセンターPASSO

児童発達支援管理責任者・臨床発達心理士 おお さわ か よ こ
大 澤 佳世子

■ はじめに…

児童発達支援部 研修相談支援室では、本人支援事業を受ける前や外来発達検査にてTTAP(自閉症スペクトラムの移行支援アセスメントプロフィール)を実施しています。

TTAP (TEACCH Transition Assessment Profile) は自閉症児者支援で世界的に著名な米国ノースカロライナ大学TEACCH®自閉症プログラムで開発された学校から成人生活への移行のためのアセスメント(評価)です。

TTAPはフォーマルアセスメントとインフォーマルアセスメント分野に分かれています。フォーマルアセスメントでは直接観察尺度、家庭尺度、学校/事業所尺度、仕事そのものの能力を測定する「職業スキル」、仕事以外のソフトスキルといわれる「機能的コミュニケーション」や「対人行動」を評価する、真に自閉症スペクトラム障害に特化した最先端のアセスメントです。特別支援学校から卒業後の移行支援だけではなく、事業所から企業への移行にも有効なアセスメントです。

インフォーマルアセスメントは学校や事業所内でのアセスメントではなく、実際の企業での現場実習などで用いられるために作成されています。その中にはスキルのチェックリスト(CSC)や行動のチェックリスト(CBC)が含まれます。そして、実際の実習現場で行う実践的アセスメント(CSAWや

DAC)は、企業での具体的構造化の考え方など現場ですぐに役立つアセスメントです。

近年、小中学校・高等学校におけるキャリア教育の導入に伴い、発達障がい児童・生徒のキャリア教育についてのアセスメントや導入方法についてTTAPが教育・福祉分野から注目されています。研修相談支援室ではTTAPをいち早く外来発達検査で導入しました。本人支援事業で、フォーマルアセスメントの結果からインフォーマルアセスメントを蓄積していき、学校教育終了後にスムーズに地域生活や就労へ移行できるよう計画を立案するサービスも提供してきました。平成27年4月1日開所の指定放課後等デイサービス「サポートセンターPASSO」では、発達障がい児思春期専門療育前のアセスメントとしても「TTAP」を活用し、療育の中でインフォーマルアセスメントを蓄積し、療育2年目以降の中高生は、職場体験実習、就労訓練体験の中で実習をします。

■ 当法人内の発達障がい児童・生徒のアセスメントの状態と問題点…

- ①従来から*PEP3では系統だった研修はしていましたが、療育終了後の10歳以降の青年期のアセスメントについて学びたいというニーズがありました。
- ②青年・成人期の就労準備段階のアセスメント

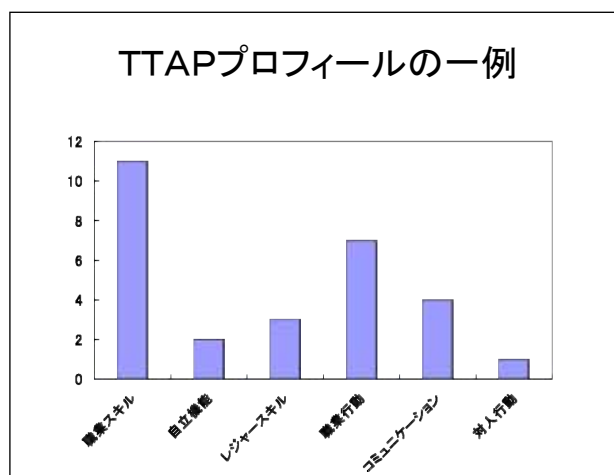
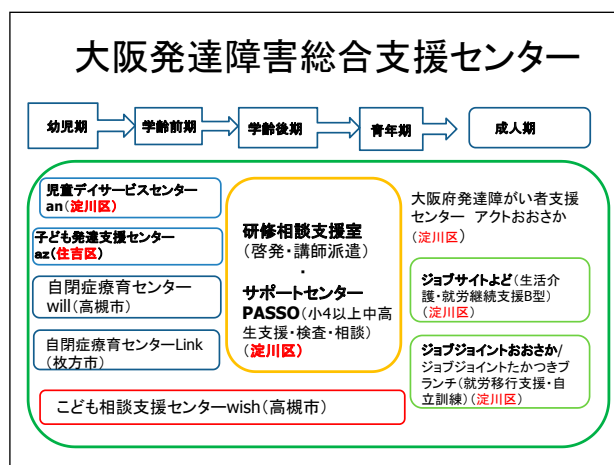
ツールは事業所ごとにそれぞれ実施。共有できるツールや、共有できる観点が必要と感じていました。

※ PEP-3

自閉症スペクトラムの子どもたちの標準化された診断評価 するため、全米各地域から標準化されたデータを広く収集し、自閉症スペクトラムの子どもたちと定型発達の子どもの比較を行うのに有用な評価方法

■ 解決方法

「大阪発達障害総合支援センター」の子どもから大人までサービスをつなぐという目的達成の為に、また学齢期から成人期への移行をスムーズに行う為にも、法人内の事業所内でアセスメントツールを共有することが必要です。各事業所がそれぞれの観点でご本人を評価していましたが、TTAPを学ぶことによって、一貫した支援を目指す時に観点を共有することが可能になると感じ内部研修を行いました。



TTAP（自閉症スペクトラムの移行支援アセスメントプロフィール）の実施法・評価方法について、研修相談支援室での実際のケースの評価場面の準備、見学、事後評価への参加、保護者への報告の一連の流れについて実地研修を企画しアセスメントのスキルアップとして参加を募りました。

- ①講義（別途、11月16日、30日の土曜日出勤日に開催）
- ②検査道具の準備・場所のセッティング・道具の片づけ
- ③検査中のテスター補助と実施法の陪席
- ④検査中の記録
- ⑤検査後の評価をテスターと一緒にマニュアルを見て行う
- ⑥ビデオ実習（別途11月16日、30日の土曜日出勤日に実施）
- ⑦テスターが作成した検査報告書を読んで個別移行支援計画の立案
- ⑧ご利用者保護者より、検査報告に同席することに承諾いただいた場合、別日程の検査報告に陪席

■ 効果…

〈研修参加者アンケート結果より〉

11月「TTAP 研修～基本編～」について

(11名参加)

- ① TTAPの背景・理念・評価・観点についての感想は？

⇒非常に役に立った（90%）

- 将来を見据えた評価の観点が分かり、幼児期・学齢期の療育の支援に役に立った
- 相談業務の中でご本人のアセスメントする視点を共有できた

② TTAP の実際について 検査道具を見たり、一部実践してみてもの感想は？

⇒非常に役に立った（95%）

- 実際の検査道具を見て扱ってみて（体験）、誰が対応しても一定の質の担保ができるアセスメント方法だと思った



③ TTAP の実施法を学習したり、実際の検査場面のビデオを見ての感想は？

⇒非常に役に立った（90%）

- 発達障がいの方の特性がよく理解できる方法だと感じた
- 芽生えの評価のポイントが分かった

④ TTAP の評価結果から個別支援計画立案について見えてきたことは何ですか？

⇒芽生えとなった項目をどのように支援や生活に生かすか

⇒TTAPのような専門性の高い評価方法が一般的に広がれば、より発達障がいに特化した支援の視点が育つと感じた

⑤ 質問や今後の研修について

⇒具体的な事例や、中高生の本人支援のケースの内容や事例を知りたい

⇒TTAPの応用編やインフォーマルアセスメントについて知りたい

⇒今後もアセスメント研修を続けて企画してほしい

⇒成人期の支援をしている事業所と連携してTTAPを生かした支援をしていきたい

〈2日間のTTAP 実地研修で得たこと、今後に生かしたいこと、感想〉

⇒現在PASSOで実施している個別評価コースや本人支援コースでやっている支援が、まさにTTAPの評価結果に基づいていて、本人支援の中でインフォーマルアセスメントをしている最中であることが分かった。

⇒2日間（基礎編）+2日間（実地研修）で、青年・成人期の自閉症のある方が地域社会で生活するために必要とされる様々な知識や技能について、6つの機能領域として整理して知ることができ、将来を見据えた評価の視点が明確になった。

⇒機関支援での巡回指導や相談業務の場において、高学年の対象児に対し、TTAPの評価の観点で教育課題や環境的支援を助言するのに役に立った。



⇒実際に検査場面を見た後に、マニュアルを見て評価することで芽生えとなるポイントが分かった。

⇒児童発達支援部でも小学3～6年生の療育ができるような人材育成を考えているので、TTAPをとったり、評価後の支援計画を立てる際に、中学・高校そして、就労へとつなぐ支援ができるようになりたいと感じた。PASSOの専門性の高い本人支援コースの現地研修もぜひ行ってほしい。

■ 業績・今後に向けて・・・

①TTAP 現地研修とTTAP 内部研修～基本編～をモデルに法人全体でTTAPの観点を共有できたらいいと感じました。

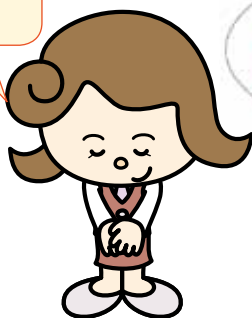
②今後は、インフォーマルアセスメントの研修を法人内でやっていきたい

例えば、PASSOの中高生がジョブジョイントおおさか（以下JJ）の職場体験をさせていただく際に、TTAPからの移行支援計画の1こまを実習させてもらう際に、目標を共有したいです。（平成25年度3名、平成26年度8名で実施済）

③逆に、JJのご利用者さんが利用前に研修相談支援室でTTAPを取り、移行支援計画（案）を持ってJJを利用し、インフォーマルアセスメントを蓄積していくなどして、事業所を超えて法人内でライフステージをつないでいくことを提案できればと考えています。

④本人支援コース終了後の中高生が卒業後、法人内の事業所につないだ際に⇒卒業後の事業所（おれいすBeやJJなど）のスタッフが研修相談支援室に事業所間研修に來たり、事業所（現場）に研修相談支援室などのスタッフが出向きケースのスーパーバイズをするなどのSV（スーパーバイズ）機能をもてると思います。

共にがんばりましょう！
よろしくおねがいします！



ジョブサイトよどの 「よどのコロッケかわら版」作成を通して



ジョブサイトよど

厨房支援員・介護福祉士 熊谷 素子

■はじめに

皆さんは「よどのコロッケのかわら版」をご存知ですか？当法人のホームページ中の『よどのコロッケ』（<http://www.suginokokai.com/yodocoro/>）のページに毎月アップされています。今ではすっかり月1回の発行で定着しているおなじみのかわら版です。内容はコロッケを製造しているご利用者やスタッフからのメッセージや、出張販売の日程、新作コロッケのお知らせなどを、ご利用者のイラストや詩、文章、文字で紹介しています。初めて発行したのは、平成22年10月。その後平成23年に3回発行、平成24年は2月に発行して以来ストップと、発行が不定期になっていました。以下には、平成24年7月より毎月定期発行するまでの経緯をまとめています。

■定期発行に至るまでの課題

○地域やご利用者のご家族への広報不足

- ・ジョブサイトよど内での活動内容や製造しているコロッケの商品の説明
- ・外販やイベントへの出店情報

○「よどのコロッケかわら版」の発行が不定期

○かわら版制作活動へのモチベーションが上がらない

- ・作成しなくてはと言う負担感が大きかった
- ・制作と発行までに期間が空きすぎる

■解決に向けて

○何を伝えるかを明確にした

- ・特にコロッケ製造現場の生の声を届けたいというところから、作成者をフロア担当者からコロッケの厨房担当者に変更した。実際に関わらなければ何をどう伝えて良いかを考えるのに苦労したが、製造している厨房のスタッフからの生の声なので、現在の取り組みや新作コロッケの説明など具体的な内容を記述しやすくなった。

○役割を分担し、発行に向けた負担を軽減した

- ・全体構成：スタッフ
- ・イラスト：ご利用者中心に
(日中活動の制作活動としての位置づけになり、個人のスケジュールに入れ込んだ活動となった)





- ・印刷：ジョブジョイントおおさかの活動に
- ・ポスティング：ジョブジョイントおおさかの活動に

■その結果として

- コロッケを製造しているスタッフの生の声を届けられるようになった
- 毎月の定期発行が実現した
- 店舗やイベント先への来客数がアップした
(特にご家族が来てくださるようになった)
- 地域での認知度もアップした
- 制作活動へのモチベーションもアップ
 - ・自分の作品が掲載されるため、ご利用者にも活動の意味が分かりやすくなった。
 - ・ご利用者の新たな一面を発見でき、スタッフもやる気がアップした。
 - ・ご利用者本人から「載せてほしい」と原稿を作成することが増えた。

■その後そしてこれから

「よどのコロッケかわら版」を定期発行することで、毎月新しい紙面を紹介しています。順番に各フロアのご利用者の方から文字やイラストを提供して頂いて作成していますが、コロッケの販売・製造・配達・清掃などと同じく、コロッケ事業における活動支援の1つとなっています。

また、コロッケの情報だけでなく、ご利用者の自

作の詩やエッセイなども紹介しています。「詩が良かった」「発達障害の事が知りたい」等感想も寄せられ地域での理解を深める機会になっていると感じています。

嬉しいことに、ご利用者本人から「かわら版に載せて欲しい」と描いていただける機会が増えてきました。こうした主体性を持った取り組みは、ご利用者のモチベーションが大きく上がっていることを表しており、「自分を表現できるチャンス」と思えるようになって来たのではないかと感じています。

日中活動での制作が安定してきたことによって、平成26年度の選択プログラムの「絵画」グループへと発展していった、これもかわら版から始まったひとつの成果と言えます。今後も参加の輪を広げて支援活動の向上へとつなげて行きたいと思います。そして、店舗やイベント先で、「よどのコロッケかわら版」を配布することを通して、コロッケのさらなる売り上げの向上と、地域の皆様との繋がりをさらに強化していく。これらを大事な目標とし、継続して取り組んで行きたいと思います。





北摂杉の子会のホームページ 更新情報

(平成26年12月～平成27年2月)

北摂杉の子会のホームページ (<http://www.suginokokai.com>) では、様々な法人の活動や情報提供をリアルタイムで掲載しております。
過去3ヶ月のホームページ更新状況をお知らせいたします。
ホームページでは、機関誌のバックナンバーもご覧いただけます。
ご興味のある方は『北摂杉の子会』で検索して、ぜひアクセスしてご覧ください！

掲載ページ	内 容
各施設のご案内	an 新聞・will 新聞・Link 新聞掲載
	発達障害のある大学生向けサービス『en+jointクラブ』の報告会開催
	Link 平成27年度療育児募集要項・実施要項 掲載
	will 平成27年度療育児募集説明会開催
	an 平成27年度療育事業説明会（施設見学会）開催
	ジョブジョイントおおさか 平成27年度上半期 見学会のご案内
お知らせ	世界自閉症啓発デー 映画上映&ミニトークのお知らせ
	サポートセンター・PASSO 2015年4月開所予定! ご案内・申込書掲載
機関誌	第56～59号 掲載
よどのコロッケ	イベント販売&お知らせ
Café Be	ランチメニュー更新
	Café Be ミュージック・ディ情報更新

社会福祉法人 大阪府共同募金会 施設整備費配分金事業完了のお知らせ

社会福祉法人大阪府共同募金会様が平成25年度により実施された、共同募金施設整備費配分金事業（平成26年度実施事業対象：社会福祉法人大阪府共同募金会 <http://www.akaihane-osaka.or.jp/>）により、当法人へ以下の金額が配分されました。

配分金は以下の事業に有効適正に活用いたしました。共同募金にご協力いただいた大阪府民（寄付者）の皆様に感謝いたします。



対象事業	金額(千円)	事業所名	完了年月日
送迎用車両整備(更新)	960	萩の杜	平成26年6月10日

掲示板コーナー

(平成26年12月から平成27年2月まで)

法人本部総務部掲示板

12月	行	事
8日	グループホーム説明会（高槻現代劇場）	
9日	新入職者研修（法人本部会議室）虐待防止	松上利男常務理事
12・26日	運営会議	
15日	経営会議	
	自閉症啓発デー会議（法人本部会議室）	
26日	虐待防止委員会	
1月	行	事
6日	関西学院大学生によるフィールドワーク（十三地区）	
7～8日	内定者実習（ぶれいす Be）	
9・23日	運営会議	
13日	経営会議	
19日	自閉症啓発デー会議（法人本部会議室）	
2月	行	事
1日～	大学生インターンシップ受け入れ開始（各事業所にて）	
2・16日	自閉症啓発デー会議（法人本部会議室）	
6日	花園大学 学内説明会参加	
7日	平成26年度 第4回法人研修（高槻現代劇場）	- 第3次中期計画の進捗状況と社会福祉法人のあり方について - 実践報告 ショートステイセンターぶれす・レジデンスなさはら・あんだんて・児童発達支援部 - 自閉症の理解、評価と構造化 - 問題行動の評価と支援 - 事例報告 ジョブサイトよど・ジョブジョイントおおさか・レジデンスなさはら
9日	経営会議	
10日	新入職者研修（法人本部会議室）参加者による各事業所紹介	
13・27日	運営会議	

(河辺 記)

関西学院大学生によるフィールドワーク



萩の杜 掲示板

萩の杜では開所以来、ご利用者の日常生活の質を高めることに力を注ぐため、イベント的な行事はあまり行っていません。しかし、年に一度「ご利用者さん一年間お疲れ様でした」の意味を含め、12月23日にクリスマス忘年会として、ユニット単位で外食やホームパーティを企画しています。

今回は平成26年12月23日に実施したクリスマス忘年会の様子をご紹介します。



平成26年12月に閉店された「高槻京都ホテル」でバイキング。今までお世話になりました！



ふれっとや萩の杜リビングでホームパーティ♪



ホームパーティでは、
ケーキにトッピングするなど
調理や飾り付けに
取り組みました。



コース料理は事前に
コースの内容を調べ、
一覧で示すことで見通
しを持って食事できる
ように配慮しています。



(山根 記)

ジョブサイトひむろ掲示板

(12～2月のレクリエーション・行事)

今期は各グループの12～2月までのレクリエーションの写真を掲載しています。

もみじの湯・三田屋

12月3日



マイカル茨木

12月11日



イオンモール桂川

12月18日



民博レストラン

1月13日



ゆうあいセンター(調理実習)

1月14日



カラオケ

1月22日



うさぎカフェ(うさゆ)

1月19日



木曽路(箕面店)

1月21日



太陽のごちそう

1月26日



(中原 記)

大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか

12月	行 事
2日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設) 寝屋川市障害者地域生活支援センターあおぞら 訪問
3日	講師派遣:「障害者と社会をつなぐシンポジウム」
4・5日	相談支援従事者・サービス管理等責任者研修
5日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設) 茨木市 相談支援センターあい・あい 訪問
8日	ペアレント・メンター養成研修 フォローアップ研修 (1回目)
12日	大阪府内3センター現場会議
15日	家族グループ(4回目)
19日	法人内相談支援従事者「ソーシャルワーク研修」 (3回目)

1月	行 事
15日	講師派遣:平成26年度第1回発達障がい者就労支援者育成事業
19日	大阪府発達障がい者支援体制整備検討委員会 成人ワーキング
20日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業 (家庭教育支援チーム) 門真市 訪問
21日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業(施設) 枚方市 障害者地域活動スペースSORA 訪問
22日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業 (家庭教育支援チーム) 寝屋川市 訪問 発達障がい者支援コーディネーター派遣事業 (家庭教育支援チーム) 貝塚市 訪問
23日	講師派遣:大阪府社会福祉協議会 「社会貢献事業スキルアップ研修」
28日	大阪府発達障がい者支援体制整備検討委員会 子どもワーキング
30日	ペアレント・トレーニングインストラクター 養成研修2クール目(最終日)

2月	行 事
2日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業 (家庭教育支援チーム) 泉大津市 訪問
6日	大阪府発達障がい者支援センター連絡協議会 (2回目)
13日	法人内相談支援従事者「ソーシャルワーク研修」 (4回目)
14日	発達障がい者支援センター近畿ブロック研修会
16日	家族グループ5回目 講師派遣:守口市立錦小学校
18日	発達障がい情報連絡会
19日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業 (家庭教育支援チーム) 貝塚市 訪問
20日	応用講座(3回目) 大阪府発達障害団体ネットワーク会
25日	発達障がい者支援コーディネーター派遣事業 茨木市 いばらき自立支援センターぼぼんがぼん (相談支援事業) 訪問
26日	講師派遣:枚方市男女共生フロア・ウィル
27日	地域ネットワーク強化事業 「成人期発達障がい者地域支援ネットワーク会」 3回目

(内田 記)

成人期発達障がい者地域支援ネットワーク会



児童発達支援部掲示板

○研修相談支援室・PASSO

12月	行	事
1日	自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会オアシス	座談会の講師
5日	高槻市ペアサポート巡回指導⑧	
12日	家族グループ④	
	淀川区自立支援協議会相談支援部会	
15日	後期自己理解支援講座②	9名参加
17日	料理くらぶ	3名参加
19日	和泉市幼稚園巡回指導⑩	
24日	科学・発見くらぶ	4名参加
26日	児童発達支援部	たんぽぽ会

1月	行	事
10日	料理くらぶ	3名参加
16日	高槻市ペアサポート巡回指導⑨	
	自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会オアシス	実践報告会
19日	四條畷市発達障がい啓発研修会②	講師派遣
	摂津市小学校巡回相談⑤	
23日	和泉市幼稚園巡回指導⑪	
	高槻市ペアサポート巡回指導⑩	
30日	和泉市小学校巡回指導⑫	
	豊能町小学校巡回相談③	
31日	もみじの家	講師派遣

2月	行	事
2日	豊中市立みのり園	講師派遣
3日	児童デイサービスセンターan	実践交流会 講師
4日	料理くらぶ	3名参加
6日	淀川区自立支援協議会相談支援部会	
	泉大津市小学校巡回指導③	
	高槻市ペアサポート巡回指導⑪	
9日	後期自己理解支援講座③	6名参加
	家族グループフォローアップグループ③	
	摂津市小学校巡回相談⑥	
12日	和泉市中学校巡回指導⑬	
13日	泉大津市要保護児童対策地域協議会発達支援ネットワーク部会研修会	講師派遣
16日	四條畷市発達障がい啓発研修会②	講師派遣
20日	岸和田市社会福祉協議会	講師派遣
23日	和泉市幼稚園巡回指導⑭	
	高槻市立第八中学校	校内研修
	茨木市職員研修	講師派遣
27日	高槻市教育センター	実践報告会
	家族グループ⑤	
	泉大津市	実践報告会

○児童デイサービスセンター an

12月	行	事
9日	保護者研修入門A グループ	
12日	保護者研修入門B グループ	
26日	職員内部研修会	
28日～	冬期休暇	

1月	行	事
～4日	冬期休暇	
6日	職員避難訓練	
10日	新入児募集説明会 療育事業説明会（施設見学会）	
16日	保護者研修入門B グループ	
20日	保護者研修入門A グループ	
30日	保護者研修実践交流会	

2月	行	事
3日	保護者研修実践	
7日	法人研修	
12日	新入児契約説明会	
13日	保護者研修入門B グループ	
17日	保護者研修入門A グループ	

○自閉症療育センター will

12月	行	事
5日	保護者研修A グループ	
12日	保護者研修B グループ	
13日	施設見学会	
26日	職員内部研修	
28日～	冬期休暇	

1月	行	事
～4日	冬期休暇	
16日	公開講座	
30日	保護者研修実践グループ	
31日	平成27年度 新規療育児募集説明会	

2月	行	事
6日	保護者研修B グループ	
13日	保護者研修A グループ	
27日	保護者研修実践グループ	

○自閉症療育センター Link

12月	行	事
13日	施設見学会	
19日	公開講座	
26日	職員内部研修会	
28日～	冬期休暇	

1月	行	事
～4日	冬期休暇	
16日	保護者研修A グループ	
23日	保護者研修B グループ	
24日	平成27年度 新規療育児募集説明会	

2月	行	事
7日	法人研修	
13日	保護者研修A グループ	
20日	保護者研修B グループ	

（谷岡 記）

ジョブサイトよど掲示板

12月	行	事
1・8・15・22日	選択プログラム	ドライブ
2・16日	選択プログラム	エアロビ
3日	選択プログラム	プール
4・18日	選択プログラム	ウォーキング
5日	選択プログラム	カラオケ 十三中学校コロッケ外販
6日	池田さざなみコロッケ外販	
7日	長居スポーツセンターコロッケ外販	

9日	選択プログラム	陶芸
10・24日	選択プログラム	絵画
11日	B.B. マルシェ（新大阪）コロッケ外販	
19日	選択プログラム	乗り物 十三中学校コロッケ外販
24日	クリスマスセット予約販売	高槻地区
25日	クリスマスセット予約販売	豊中・淀川・平野地区
26日	慰労会	
30日	選択プログラム	サッカー

1月	行 事
5・19・26日	選択プログラム ドライブ
7・21日	選択プログラム プール
8・22日	選択プログラム ウォーキング
9日	選択プログラム カラオケ
13日	十三市コロッケ外販
13・27日	選択プログラム エアロビ
14・22日	選択プログラム 絵画
16日	十三中学校コロッケ外販 選択プログラム サッカー
17日	中央区フェスティバルコロッケ外販
20日	選択プログラム 陶芸 豊中地区コロッケ予約販売
23日	選択プログラム 乗り物
28日	淀川・平野地区コロッケ予約販売
30日	第2みらい文化祭コロッケ外販 選択プログラム 料理

2月	行 事
2・9・16・23日	選択プログラム ドライブ
3・17日	選択プログラム 陶芸
6日	選択プログラム カラオケ
10・24日	選択プログラム エアロビ
10日	十三中学校コロッケ外販
12日	B.B. マルシェコロッケ外販
12・26日	選択プログラム 絵画
13・18・19・20日	日帰り旅行USJ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)
14日	大阪中央体育館(車いすバスケットボール大会) コロッケ外販
17日	豊中地区コロッケ予約販売
22日	長居スポーツセンター(子供運動会)コロッケ外販
25日	淀川・平野地区コロッケ外販 選択プログラム 絵画
27日	大阪社会福祉指導センター前コロッケ外販 選択プログラム 料理

(田端 記)

❖ 日帰り旅行：USJにて ❖



ぷれいすBe 掲示板

12月	行 事
6日	土曜開所日
14日	高槻カトリック教会にてガレット販売
15日	内部研修「自閉症について」
20日	土曜開所日（クリスマス会）
27日	冬休み（～1月4日まで）

見学：0件

1月	行 事
9日	ご利用者成人式
10日	土曜開所日
19日	内部研修「各グループの実践報告」
23日	高槻市市民後見人養成講座より実習生1名受け入れ
24日	土曜開所日（餅つき）
26日	大阪保育福祉専門学校より実習生1名受け入れ（～2月7日まで）

見学：5件30名

2月	行 事
2日	大阪府社会福祉事業団より実習生1名を受け入れ（～14日まで）
6日	高槻市市民後見人養成講座より実習生1名受け入れ
8日	高槻カトリック教会にてガレット販売
13日	高槻市市民後見人養成講座より実習生1名受け入れ
16日	大阪保健医療大学より実習生1名受け入れ（～20日まで）
27日	高槻市市民後見人養成講座より実習生1名受け入れ
28日	土曜開所日

見学：4件19名
（下 記）

♠ 12月 クリスマス会 ♥



♣ 1月 餅つき ◆



ジョブジョイントおおさか -たかつきランチ- 掲示板

12月	行	事
8日	事業所見学会（十三）	
20日	土曜開所日 / 利用者忘年会（高槻） / JJ（ジョブジョイント）OBの会	
22日	事業所見学会（高槻）	
26日	大掃除 / おつかれさま会（十三）	

1月	行	事
13～24日	個別支援計画懇談期間	
19日	事業所見学会（高槻）	
23日	气象台見学会	
26日	事業所見学会（十三）	
31日	土曜開所日 / en+jointクラブ（発達障害のある学生向けサービス）	

2月	行	事
3日	避難訓練（十三）	
6日	会社見学会（株式会社u&n）	
9日	事業所見学会（十三）	
21日	土曜開所日 / JJ（ジョブジョイント）OBの会 / 家族ミーティング	
23日	事業所見学会（高槻）	

（山田 記）



特別プログラム（模擬職場）



特別プログラム（企業研究講座）



JJ（ジョブジョイント）クラブ（初詣）



JJ（ジョブジョイント）クラブ（洗濯・アイロンがけ）

萩の杜家族会掲示板

12月	行	事
7日	ハンドメイド1day ショップバザー参加	
11日	イオンイエローレシートキャンペーン参加	
22日	安全対策委員会	
1月	行	事
11日	イオンイエローレシートキャンペーン参加	
22日	サークル萩（手作り品の作成と情報交換）	
23日	定例会 - 施設からの報告（勝部施設長） - 安全対策委員会からの報告（勝部施設長） - 施設巡視会開催のお知らせ - 互助会について - 定例会の在り方について - 各グループ（資金、広報、会計、事務局）からの報告	
25日	カトリック高槻教会にて花販売	
28日	5家族会会長懇談会	
2月	行	事
5日	施設巡視会	
11日	イオンイエローレシートキャンペーン参加	
22日	カトリック高槻教会にて花販売	
23日	安全対策委員会	
26日	サークル萩（手作り品の作成と情報交換）	

（飯塚 記）

ジョブサイトひむろ家族会掲示板

12月	行	事
10日	第3回定例会（現代劇場206号 会員36名出席） - 法人現状報告 中村理事長より - バザー結果報告 豊澤会長より - ひむろ移転、グループホーム建設進捗状況 平野地域生活支援部長より - ジョブサイトひむろ報告 森田施設長より - 次年度役員について 豊澤会長より - 法人医療連携推進室から報告 小林室長より - その他 父親会開催について 豊澤会長より	
	グループホーム説明会（現代劇場205号 会員希望者参加）	
1月	行	事
9日	広報委員会 機関誌60号発送（事務局役員）	
14日	事業所報告会（現代劇場205号 会員希望者参加） ジョブサイトひむろの日中活動について	
21日	第4回役員会（カフェBe） - 次年度役員候補について - 次回定例会について - 総会日程について - 家族会会費について - 父親会開催について	
28日	第5回5家族会会長懇談会（法人本部 会長出席）	

2月	行 事
9日	嘱託医真野先生を交えての医療・健康に関する勉強会 (カフェBe 会員有志出席)テーマ「生活習慣病」
15日	父親会(現代劇場205号・懇親会 総勢26名参加)
17日	第4回定例会(現代劇場206号 会員42名出席) ・父親会報告 豊澤会長より ・法人からの報告 沖本副理事長より ・グループホーム説明会報告と新規建設進捗状況及びひむろ移転について 平野地域生活支援部長より ・ジョブサイトひむろ報告 森田施設長より ・次期役員改選について 豊澤会長より 新役員 会長:東様 副会長:高原様 会計:竹内様 事務局:加藤様 会計監査:金谷様 ・その他 総会、懇親会4月21日開催 会計より家族会会費納入確認書配布
18日	第2回グループホーム説明会(現代劇場205号 会員希望者出席)

(宮階 記)

父親会報告

会 議

日 時 平成27年2月15日 15:00～17:00
場 所 現代劇場205号室

懇 親 会

日 時 同日 17:50～19:50
場 所 がんこ高槻店

参加者 法 人 中村理事長・沖本副理事長・松上常務理事・佐々木部長
施 設 平野地域生活支援部長・森田ジョブサイトひむろ施設長・
伊名岡レジデンスなさはらサービス管理責任者

来 賓 真野医師

家族会 東・垣端・加藤・川合・久慈・高原・田中・豊澤・永田・西原・干場
三宅・明定・山口・山田(英) 合計23名・敬称略

会 長 報 告

新役員内定の報告
会長 東(新・男) 副会長 干場(女) 高原(新・男)
会計 唐木(女) 竹内(新・女) 会計監査 金谷(新・男)
事務局 入江(女) 山口(女) 大東(女) 加藤(新・男) 敬称略
参与 松上常務理事 平野部長 森田施設長

中村理事長報告

理事長方針に沿って出来ていること、遅れていることに大別し説明
◎順調に推移
発達障害就労支援(ジョブジョイントおおさか) 児童療育事業(新規・南大阪に開設準備)
○じっくり進んでいること
重度化・高齢化対策として医療的ケア・入院時の費用負担として互助会
高賃金の為のポップコーン事業・チョコレート事業の案件
▲遅れていること
平成26年度完結予定の新グループホーム平成28年度完結予定のひむろ・みやた移設
△新しい取り組み
居宅介護事業・成年後見人制度への取り組み
討 議 理事長説明に対しそれぞれの問題、特にジョブサイトひむろ家族会として重点対策である、
新グループホーム、みやたの移設、ジョブサイトひむろの移設について意見が集中し、問題点
として最大の課題が土地の選定にあること、又行政の方針が今一つ明確にならない事を相互に
確認
今後の方向づけとして、【計画の共有】【悩みの共有】を再確認し、場所を変えての懇親会は
より一層の盛り上げを見せて閉会する。

付 記 忙しい中、法人幹部並びに真野先生にもご参加賜り有意義に過ごせましたこと御礼申し上げます。
(文責 豊澤)



ジョブサイトよど&ジョブジョイントおおさか家族会掲示板

12月	行	事
2日	役員会開催	100円喫茶実施
3日	梅田スカイビル「障害者と社会をつなぐシンポジウム」	(会長参加)
8日	ペアレントメンター（フォローアップ研修）	(会長、役員参加)
12日	オアシス役員会で100円喫茶実施	
15日	定例会。ジョブサイトよどの田端施設長からヒヤリハット報告（10名参加）	100円喫茶実施
16日	オアシスサロンで100円喫茶実施	

1月	行	事
5日	役員会開催	100円喫茶実施
13日	十三市に参加	
15日	オアシス役員会で100円喫茶実施	
16日	オアシスの実践報告会（役員参加）	
20日	勉強会（オアシスと共催） 中山清司先生（北摂杉の子会スーパーバイザー）をお迎えして 「問題行動について」	100円喫茶実施
26日	オアシスサロンで100円喫茶実施	

2月	行	事
2日	オアシス役員会で100円喫茶実施	
9日	役員会開催	100円喫茶実施
13日	十三市に参加	
19日	北摂杉の子会後援会役員会（会長参加）	
24日	オアシスサロンで100円喫茶実施	

(福田 記)

ぶれいす Be 家族会掲示板

12月	行	事
6日	父親の会、担当役員：柏原	参加者：11名
11日	役員会（ぶれいす Be 会議室）出席者：10名（施設長を含む） 審議報告事項	・家族会案内パンフレットの確認と利用者全員への配布 ・法人への寄付手続きの確認と文書配布 ・次期役員アンケートの確定と配布 ・行事報告（ショートステイ懇談会、第五回参観&ランチ、父親の会） ・入院対応勉強会の案内文書の確定と利用者全員への配布 今回の勉強会は家族会とぶれいす Be の「共催」とし、案内状はご利用者のすべての保護者に配布する。名札等は用いない。 ・掲示板原稿の追認
22日	法人本部への寄付金の払い込み	担当者：北川・厚東

1月	行	事
8日	「コールつばさ」練習会（今城塚公民館）	
9日	機関誌発送業務への参加 担当者：田中	
15日	役員会（ぶれいすBe会議室）、出席者：8名（施設長を含む） ・寄付以降の事務処理（寄付申込書・領収書の取り扱い） ・次期役員アンケートの集計→回答を尊重し第6期家族会役員候補をリストアップ ・会員名簿作成のための照会アンケートの確定と配布 ・「Beどうし」原稿の追認	
22日	「コールつばさ」練習会（今城塚公民館）	
28日	5家族会会長懇談会 担当者：厚東	
29日	「コールつばさ」練習会（阿武山公民館）	

2月	行	事
2日	勉強会：入院対応について、講師：小林哲理医療連携推進室室長。 13:30～15:00、於：ショートステイ・ホール。参加者：15名。 担当者：厚東、田中、下	
5日	「コールつばさ」練習会（富田ふれあい文化センター）	
12日	役員会（ぶれいすBe会議室）参加者：11名（施設長を含む） 久しぶりに「全員集合」の役員会で、やっと「新年気分」になることができました。 審議報告事項 ・「入院対応」勉強会の報告書の確定と利用者全員への配布 ・新しい名簿について（新入会員が年度末にあることに鑑み、定期総会後に配布する） ・次期役員候補（12名の現役員中、3名が交代する） ・定期総会までの手順等の確認 「コールつばさ」練習会（富田公民館）	
19日	北摂杉の子会後援会臨時役員会 担当者：厚東 「コールつばさ」練習会（富田公民館）	
26日	「コールつばさ」練習会（今城塚公民館）	

（厚東 記）

自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会 オアシス掲示板

12月	行	事
1日	新澤先生を囲んでの座談会	
5日	アミティ舞洲施設見学会	
8日	ペアレントメンター研修（役員）	
12日	役員会	
16日	オアシスサロン	

1月	行	事
11日	亀井愛さん講演会 自閉症協会さんへの協力	
15日	役員会	
16日	実践報告会	
20日	中山先生勉強会 ジョブサイトよど&ジョブジョイントおおさか家族会共催	
26日	オアシスサロン	

2月	行	事
1日	就労体験	
3日	役員会	
20日	大阪府障害者団体ネットワーク会合 会長・副会長出席	
24日	オアシスサロン	

（村井 記）

北摂杉の子会 後援会掲示板

本会の活動に対して萩の杜、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよど&ジョブジョイントおおさか家族会、ぶれいすBeの家族会の皆様を含めて多くの方々にご支援をいただき、まことにありがとうございます。今後ともより一層のご協力をよろしくお願い申し上げます

<会員数の推移>

12月 個人会員：522名、団体会員：23団体
合計：545名／団体 寄付：6件
1月 個人会員：522名、団体会員：23団体
合計：545名／団体 寄付：5件
2月 個人会員：526名、団体会員：23団体
合計：549名／団体 寄付：2件
(2015年2月末までの新規会員)
個人会員：47名、団体会員：2団体
合計：49名／団体

<報告事項>

- 1) 今年度の2月末までに32件、481,738円の寄付、1,406,000円の会費、合わせて1,887,738円の資金を頂きました。
ご協力ありがとうございます
- 2) 2015年2月19日（木）に臨時役員会を開催
 - 2014年11月～2015年1月までの経過報告
 - ①個人会員：522名、団体会員：23団体、②寄付：30件、③資金：約176万円（会費納入率は個人：66%、団体：70%）
 - 法人HP中の後援会の部分を改訂中
 - 後援会顧問15名の中、3名の方々が2015年2月で退任されました。顧問一覧表は後援会のHPをご覧ください。

（棚山 記）

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。お振込みは右記口座まで。もしくは同封の振込用紙をご利用ください。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

記

1. 寄付金(注)
2. 個人会員 年間一口 2,000円
3. 団体会員 年間一口 10,000円

郵便振込口座北摂杉の子会
00920-8-90859

（注）任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱東京UFJ銀行 支店名 高槻支店 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会 理事 中村節史
口座番号：5085555

☐ 法人へのご寄附に感謝いたします。（平成26年12月1日～平成27年2月28日）

蛭 豊 河端良一 近藤 勝 棚山薫晴 高原和子 木下直子 松尾弘明 森田 弘

☐ 後援会入会と会費納入（平成26年11月25日～平成27年2月16日）

沖田正治 辰巳良知 松原茂樹 山里文男 小林美代子 奥 昌子 中村忠雄 降幡 聡 降幡宏子 真野利之
有田和弘 吉田保子 田中博子 太田裕之 新谷 敦 白倉俊雄 赤尾浩子 行成章子 小林基弘 高原和子
高原秀介 高原伸兒 矢橋ひとみ 矢橋耕助 角谷慶子 強田純子 村本順子 村本周一 村本典一 村本寛幸
沢田隆生 植松芳哲 植松登志子 植松正機 植松信機 植松里枝 植松小遥 植松小絢 関 隆志 関 登美子
関 典子 株式会社東テスティパル

☐ 後援会への寄付（平成26年11月25日～平成27年2月16日）

津田敬子 中村義昭 諸富信子 本吉貞子 甲斐田美智子 真野利之 伊藤法雄 橋川靖子 小野明子 矢橋寿樹
笠原年子 村本順子 匿名様

☐ 家族会へのご寄附に感謝いたします。（平成26年12月1日～平成27年2月28日）

田口容子 田口恵美子 日本キリスト教団 春日丘教会 ほかほか弁当園田店

☐ 物品のご提供に感謝いたします。（平成26年12月1日～平成27年2月28日）

藤岡紀子 岡田公子 沢田幸子 白倉三千子 小塚幸恵 吉岡茂子 南野 不二園芸

☐ ボランティアに感謝いたします。（平成26年12月1日～平成27年2月28日）

坂井恵美子 佐々木映世

（敬称略 順不同）

施設住所一覧

- **社会福祉法人北摂杉の子会 法人本部事務所**
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル203
TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155
[E-mail] info@suginokokai.com
[URL] http://www.suginokokai.com
- **知的障害者生活施設 萩の杜** (施設入所支援・生活介護)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130
[E-mail] haginomori@suginokokai.com
- **萩の杜ショートステイセンター ぶれす**
(短期入所・日中一時支援)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0130
[E-mail] breath@suginokokai.com
- **グループホーム とんだ** (共同生活援助)
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室
- **グループホーム みやた** (共同生活援助)
〒569-1142 高槻市宮田町3-4-1 105号室
- **レジデンスなさはら** (共同生活援助)
〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号
- **ジョブサイトひむろ**
(生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型)
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222
[E-mail] himuro@suginokokai.com
- **高槻地域生活総合支援センター ぶれいすBe**
(生活介護・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900
[E-mail] placebe@suginokokai.com
〈短期入所〉TEL (072)681-4720
- **生活支援センター あんだんて**
(指定特定相談支援・指定一般相談支援事業)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900
[E-mail] andante@suginokokai.com
- **大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか**
(発達障害者支援センター事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)6100-3003 FAX (06)6100-3004
[E-mail] act-osaka@suginokokai.com
[URL] http://homepage3.nifty.com/actosaka/
- **研修相談支援室**
(法人独自の公益事業〈検査・相談・研修・本人支援・講師派遣〉)
- **サポートセンター PASSO**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL&FAX (06)4862-5454
[E-mail] passo@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp
- **児童デイサービスセンター an**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-8990 FAX (06)6838-7015
[E-mail] an@suginokokai.com
[URL] http://oasc.jp
- **自閉症療育センター will**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒569-0077 高槻市野見町3-14 第2高谷ビル2F
TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056
[E-mail] will@suginokokai.com
- **こども相談支援センター wish**
(指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業)
〒569-0077 高槻市野見町3-14 第2高谷ビル2F
TEL (072)605-1140 FAX (072)662-0056
[E-mail] wish@suginokokai.com
- **自閉症療育センター Link**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F
TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412
[E-mail] link@suginokokai.com
- **こども発達支援センター az**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒558-0003 大阪市住吉区長居2丁目4-1 サンテ長居1F
TEL (06)6654-8777 FAX (06)6654-8780
- **ジョブサイトよど** (生活介護・就労継続支援B型)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015
[E-mail] yodo@suginokokai.com
- **ジョブジョイントおおさか**
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)6100-0150 FAX (06)6309-3007
[E-mail] jj@suginokokai.com
- **ジョブジョイントおおさか たかつきランチ**
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒569-0072 高槻市京口町9番3号 関西産業ビル4F
TEL (072)668-1123 FAX (072)668-1165
[E-mail] jj@suginokokai.com

※■は行政よりの委託事業

発行人 社会福祉法人 北摂杉の子会
理事長 中村 節史
発行所 北摂杉の子会
住 所 大阪府高槻市大字萩谷14番地1
発行日 2015年4月10日
定価100円